



池の子通信

～みんなの笑顔で ひかりかがやく池田小～

かしこく なかよく げんきよく
あいさつ へんじ せいりせいとん

師走の声を聴きながら...

○頬を伝う風に、本格的な冬の到来を感じる今日この頃…2020年のカレンダーもいよいよ残り1枚となつてしまいました。この時期は「師走」という言葉を聴いただけで何となく気忙しく感じてしまいます。クリスマス、年賀状、大掃除に買い出し…等々人々が慌ただしく動き回るのがこの「師走」です。テレビや新聞等でも頻繁に使われ出しています。

○「師走」の由来については様々な説が存在します。

①師（僧侶）が走る説

→ 日本は古くから、年末は僧侶が各家庭に呼ばれてお経を唱えるという習慣がありました。毎日忙しく走り回っているお坊さんの姿からできた…



②御師（おし・おんし）が1年で一番忙しい時期だから説

→ 寺社への参詣者の参拝・宿泊のお世話をする人を御師と言うそうです。その御師がこの時期最も忙しいことから師走になった…（因みに、師は「教師」のことを指す説もあります）

③当て字説

④1年が終わること説 … 等々 …

師走

○いずれにせよ、この「師走」の「走る」という言葉が、年末に忙しくバタバタと走り回っているイメージと重なって、広く使われているようです。

○特に学校では、コロナの関係で休業となってしまった3月・4月・5月の分を取り戻すべく、例年より長く設定された今学期は、これもまた例年になく非常に中身の濃い教育活動が展開されていることも、気忙しさに拍車をかけているかもしれません。

○その2学期も終わりを迎えようとしています。今学期の締めくくりがきちんとできるよう、そして今年の締めくくりがきちんとできるよう、子どもたちも先生方も最後の最後まで全力を尽くすべく頑張っています。保護者の皆様にとりまして、もちろん気忙しい「師走」ですが、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



お忙しい中ありがとうございました

11月26日からの個別懇談には、お忙しい中ご来校いただきましてありがとうございました。短い時間ではありましたが、有意義なお話ができたとおもいます。その中で、どの学年にも共通して多かった話題がテレビやスマホ、ゲームに関する悩みです。今の時代、スマホは生活の中で必需品ですし、テレビやゲームも当たり前のように生活の中に入り込んできています。切り離すことはなかなか難しいのが現実です。大事なはその使い方です。必ず家庭内でのルールをしっかりと決めてください。そして決めたルールは必ず守らせてください。大人の責任として上手な使い方を教えていきたいですね。

引き続き感染症対策の徹底を！

新型コロナウイルス感染症がここにきて猛威を振るっています。健やかに新年を迎えるに当たっても、ここで再度気を引き締めることが重要かもしれません。学校での感染症対策は「今できること、これまでやってきたことを確実に実行していくこと」を徹底し、特に寒くなってきてからは「換気」と「加湿」に気をつけています。ご家庭でも引き続き感染症対策にご協力いただくと共に、発熱等心配な症状が出た場合には、必ずかかりつけ医を受診してください。また、児童本人や同居のご家族の方がPCR検査を受けることになった場合には、必ず学校へ連絡をください。よろしくお願いいたします。

深い学びのために講師をお迎えしました

3年生 社会 土肥満 元校長先生

3年生の社会科に消防について学ぶ内容があります。今回はこの池田地区で「消防の父」と称されている小宮山清三氏についての学習です。小宮山氏は、池田村村長をしながら消防組織の近代化に尽力し、山梨だけではなく、全国組織の立ち上げにも関わった方です。小宮山氏の資料は、本校の元校長、土肥先生がここに勤務されていた時にまとめてくださり、校内の郷土資料室には様々な資料が残されています。この日は、その土肥元校長先生をお招きし、貴重な資料を目の当たりにしながら、貴重なお話を伺いました。ありがとうございました。



5年生 国語 饗場宏 先生

5年生は国語で「古典の世界」を学びます。「古典」といっても様々ですが、ここでは「落語」の世界を学びます。テレビで見たり絵本で読んだりすることはあっても、生で聞くことはそうそうありません。今回は、大学時代に落研に所属し、学校現場でも落語を教育実践に生かしている山梨大学教職大学院教授の饗場先生に来ていただきました。お題はお馴染みの「寿限無」…池田小学校風にアレンジしていただき、衣装から小道具から、本格的な落語に子どもたちも教師も聞き入っていました。ありがとうございました。



4年生 総合 穴水公一 さん

4年生は総合的な学習で、福祉について学びます。パラリンピックの種目「ボッチャ」の体験や車いす体験、視覚障がい体験等を通して、障がいについての理解を深めています。この日はご近所にお住まいの穴水さんをお迎えし、お話をお聴きしました。お二人のヘルパーさんも同行していただきました。脳性麻痺の後遺症を抱えている穴水さんは、詩集を出したり、小説を書いたり、車いすマラソンに出場したりと多方面でご活躍されています。今日のお話の中では、子どもたちに「自分の人生を楽しんでくだ



さい」というメッセージを送っていただきました。ありがとうございました。

6年生 総合 須藤大輔 さん

甲府市では開府500年記念事業の一環として、子どもたちに「夢」を語る「ドリームキャンパス」を行っています。この日の講師はサッカー界ではお馴染みの須藤大輔さん…本校の保護者でもあります。選手として、指導者として、そして現在は解説者やサッカースクールの代表理事としても御活躍の須藤さん…ご自身のことを「大ちゃんはね…」と言いながら、挫折と苦労の連続だった人生を子どもたちに語りかけてくださいました。そして「あきらめないでコツコツと努力すれば夢はかなう」「キラキラした人生をおくってほしい」という力強いメッセージをいただきました。6年生にとっては本当にタイムリーなお話でした。ありがとうございました。



